

市町村	団体名	団体の功績		地域の概要
		概要	活動の特色	
1 鳥取市	とよみ 豊実まちづくり協議会	訓練・防災フェスタや消防訓練、豊実グラウンドの芝生管理を通じた住民相互の交流促進、新型コロナの感染者や医療従事者への差別・偏見をなくす等の思いを共有するシトラスリボン運動、気軽にお茶を飲みながら認知症相談や参加者同士が交流する「とよみオレンジカフェ」等の取組を行っている。	<p>○防災への取組</p> <p>地区の行事に併せ避難訓練・防災フェスタの開催や消防団等の協力の下、消防訓練や危険箇所の点検等を実施。</p> <p>○豊実グラウンドの芝生管理</p> <p>ボランティア、地区役員、保育園PTA等、で豊実グラウンドの芝生管理を行い、コミュニティ形成強化に繋げている。</p> <p>○シトラスリボン運動</p> <p>新型コロナの感染者等への誹謗中傷・差別の根絶やウクライナの平和を願ってシトラスリボンを製作し、公民館来館者や地域の住民や企業に配布している。</p> <p>○オレンジカフェの開催</p> <p>認知症の方、ボランティア、市社協等、地域内外の方々がレクリエーション、健康教室、専門職の助言等の日常生活支援の強化推進を行っている。</p>	鳥取市豊実地区は、下段・大塚・野坂・宮谷・嶋・大満・楢間の七つの集落から成り立っている。千代川水系野坂川中流域に立見の山と大塚・野坂・大楢の山に囲まれた美しい農地が広がる田園風景が豊実の自然景観を形成している。周辺の山には古墳群が101個あり、なかでも楢間には山陰地方で最大級の前方後円墳があるなど、歴史的に貴重な遺産が多い。また、野坂の傘踊りなどの伝統芸能も受け継がれている。
		代表者氏名	はなだ ひとし 花田 均	
		団体要件	住民自治組織の連合組織	
		団体規模	6,548名(2,820世帯)	
2 鳥取市	ひおきだに 日置谷“幸せの里”づくり協議会	あじさいロードに咲く紫陽花の花が楽しめるように維持管理を行っているほか、地域のシンボルである寒桜を保護し、開花時期に積極的な広報活動を行っている。	<p>○あじさいロードの保全</p> <p>地区住民の有志による5月・9月の草刈り、3月の剪定等を通じ、6月中旬から7月中旬まで約600mのあじさいロードの花が楽しめるようにしている。</p> <p>○「日置谷の寒桜」の活用・保全</p> <p>地域のシンボルである寒桜の毎年2月の開花に合わせて、看板やのぼり旗の設置、公民館のホームページでの開花状況をリアルタイム発信、満開時期に地元メディアへ取材を依頼するなど、積極的な広報活動を実施するほか、公民館での「寒桜写真展」の開催といった誘客の取組も行っている。令和3年には取り木をして公民館の敷地内に植え、寒桜を次世代に残す取組も行っている。</p>	鳥取市青谷町日置谷地区は、鳥取市の西に位置する青谷町に属し、青谷町の東側を流れる日置川の中流域に位置している。地区内に県指定の古墳があり、また、近年同じ集落から古代官道跡が発掘され、古代より人が住み続けている地域であることが確認されている。近世から稲作を中心とした農業地域として栄え、現在も里山の美しい風景が保たれている。
		代表者氏名	なかしま のりお 中島 規夫	
		団体要件	住民自治組織の連合組織	
		団体規模	1,417名(565世帯)	
3 米子市	わだちょう 和田町地域ケア会議	様々な団体と連携し、支え愛マップも活用した高齢者の見守り活動や地域住民の買い物環境を確保するための取組等を行っている。	<p>○高齢者の見守り活動</p> <p>地域の各種団体との協力体制を整え、継続的に見守りが必要な高齢者の状態把握と支援を行い、メンバー間で情報共有しながら取組を進めている。</p> <p>○買い物難民問題への対応</p> <p>地区の買い物難民問題を解決するため、ショッピングリハビリ、青空市場から始め、現在は移動販売車を地区内数か所に来てもらえるよう働きかけを行っている。</p> <p>○支え愛マップの作成</p> <p>高齢者世帯等を色分けした支え愛マップを作成し、地域全体の状況が分かるように2か月に1度更新し、包括支援センターとも情報共有している。</p>	米子市和田町は、弓ヶ浜半島の中央に位置し、東は美浦湾、中央部は白ネギの産地である畑地帯、西は和田浜工業団地がある。特に、西側は美保湾に面し、砂浜と松林は日本の白砂青松百選にも選ばれる美しい海岸線が1キロ程連なっている地域である。
		代表者氏名	たなべ ただお 田邊 忠雄	
		団体要件	住民自治組織の連合組織	
		団体規模	2,443名(796世帯)	
4 米子市	はたがさきに く 旗ヶ崎二区自治会	自治会活動においてICT技術を活用し、利便性の向上や、活動マニュアルや活動報告動画を作成して共有することによる自治会員同士の関係強化を図り、特に若い世代に自治会に興味関心を持ってもらい、活動に参加してもらうことで自治会活動の活性化に繋げている。	<p>○公式LINEを活用した情報伝達</p> <p>各情報伝達を回覧板に加え自治会公式LINEも併用し、作成・配布の省力化・迅速化を図っている。加えて、自治会内の若者がスマホ教室を定期開催し、LINEの登録方法や使用方法を伝え、高齢者等にも登録してもらうよう取り組んでいる。</p> <p>○自治会活動のマニュアル・活動報告の動画化</p> <p>活動マニュアルの動画を作成し、部会、広報誌、公式LINEなど様々な機会で見られるようにした事で、情報伝達量や認識レベルが高水準で均一化され自治会運営がスムーズになった。活動報告も動画にして実際の様子を見てもらうことで、活動の雰囲気等が分かり、参加者が増えた。(例)とんどさんの参加者 約30名→200名</p>	米子市旗ヶ崎二区地区は、市街地中心の西側に位置し、地域の一部が中海に面している。古くは西伯郡住吉村に属した農村地帯で、綿、養蚕、葉タバコの生産が盛んに行われていた。近年は市内有数のベッタウンとして発展を遂げている。
		代表者氏名	みはら ただひろ 三原 忠宏	
		団体要件	住民自治組織	
		団体規模	987名(347世帯)	

市町村	団体名	団体の功績		地域の概要		
		概要	活動の特色			
5 米子市	ふくいけひがし 福生東11区自主防災会	毎年、防災訓練及び防災研修会を実施。夏季の夜間には各種団体と協力して通学路点検、避難経路の確認等の防災・防犯巡回を実施し、地域住民が安心して生活できるよう活動している。	<p>○防災訓練の実施</p> <p>毎年春・秋の一斉清掃の際に防災訓練を実施。自治会活動と一緒に訓練を行うことで多くの住民が参加できるようにしている。また、地元の皆生消防、皆生交番などとも連携して実施している。</p> <p>○夜間の防災・防犯巡回点検の実施</p> <p>夏季に夜間の防災・防犯点検を4回程度実施し、防犯灯、通学路、避難所、避難経路の確認等、昼間の点検では分からないことを点検。結果を回覧して住民へ周知することが防犯・防災意識につながり、活動への参加者が年々増えている。</p> <p>○自主防災組織の立上げ支援</p> <p>福生東地区内で自主防災組織が無い自治会での組織立上げに協力している。</p>	米子市福生東11区は、米子市の北側に位置し、米子市福生東地区の自治会14区域の一つで、新たに区画整理された新興住宅地である。		
					代表者氏名	なんば しょうさく 難波 章作
					団体要件	住民自治組織
					団体規模	600名(8160世帯)